

### 教育研究上の目的

生活情報学科は、基礎的な能力として、ビジネス社会で求められる教養とコミュニケーション能力、ICT活用能力を習得させる。そのうえで、ビジネスコースあるいは情報コースの専門科目を学ぶことにより、それぞれの分野の専門知識と技術を習得する。さらに、学んだ知識を資格取得に結びつけることにより、社会において実際に使える知識と技術を習得させることを教育研究上の目的とする。

### 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

生活情報学科では、教育研究上の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 実社会において自ら考え、状況に応じて対応することができる知識・能力を獲得する
2. ビジネス（経済・経営、産業や企業、労働、生活に関わる法や制度など）または情報（IT、ネットワーク、インターフェース、システム）についての専門知識と、それらを組み合わせた幅広い応用力・思考力を持つ
3. 社会の変化や技術の進歩に合わせて、新たな知識や技術を自ら学び続けられる力を身につける

そのうえで、次の資質および能力を有している者に「学士（社会情報学）」の学位を授与する。

#### ①知識・理解・技能（技法）・表現

1. 生活情報学科の主な領域(ビジネスと情報)に関する基本的な理論や概念を理解できる
2. 生活情報学科の主な領域(ビジネスと情報)に関する実践的な方法を習得できる
3. 専門教育で習得した理論・方法を、実際の問題解決に活用していく方法を身につける
4. 専門教育で習得した理論・方法を用いて、自らテーマを設定し、課題を抽出・解決し結論を導き、論理的に表現できる

#### ②思考・判断

1. 実社会における問題に対し正確に情報を集め、判断できる能力を身につける
2. 他者の意見を認めたくて、自分の意見行動を考えられる能力を身につける
3. データや現象から何が起きているのかを読み解く能力・論理的思考力を身につける
4. 実社会で要求されるものや仕様に合うものを作る創造力を身につける

#### ③関心・意欲・態度

1. ビジネスや情報に興味を持ち、自ら調べて考えようとする態度を備えることができる
2. 新しい知識・技術を自ら学ぶ態度を身につける
3. 世の中の動向や現象から、問題点を見つける能力を身につける

---

## 教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

---

生活情報学科では、「ビジネスコース」と「情報コース」の2コースを設ける。両コースの基礎となる「文章表現」「プレゼンテーション」「パソコン活用」等を共通領域とし、これらを基礎として各コースの専門科目を設定する。

「ビジネスコース」では「経済・経営」「生活」「マーケティング」「会計」の4分野の科目を体系的に学び、専門知識を身につけながら、ビジネス関連資格の獲得を目指す。

「情報コース」では「システム開発」「ネットワーク」「インターフェース」「IT活用」の4分野を設け、基礎的な科目から実用的な科目への積み上げにより、無理なく専門知識・技術を身につける。また「ITパスポート」や「基本情報技術者」などの資格取得を目指す。

各領域の学修過程および学修方法は、次の通りとする。

### ◆学科共通専門科目

1. ビジネス系科目において、ビジネスに関する基礎的な知識を習得する
2. 情報系科目において、基礎的な情報処理能力を習得する
3. コミュニケーション能力育成科目において、他者とのコミュニケーション能力の向上を図る

### ◆ビジネスコース専門科目 経済・経営

1. 「企業概論」や「企業経営入門」などでビジネスの基礎を知る
2. 「ファッションビジネス論」や「インターネットビジネス」でビジネスの動向を知る

### ◆ビジネスコース専門科目 生活

1. 「生活と民法」「暮らしの税金」でビジネスの基礎を知る
2. 「年金と保険」「金融資産運用と税制」でビジネスの動向を知る
3. 「ライフスタイル論」と「ライフコースと生活設計」で世の中の新しい動向を知る

### ◆ビジネスコース専門科目 マーケティング

1. 「マーケティング論」「ブランド論」で最新のビジネスの動向を知る
2. 「問題解決手法」「マーケティングリサーチ」で、ビジネスに関するITの手法を学ぶ

### ◆ビジネスコース専門科目 会計

1. 「簿記入門」「簿記基礎」でビジネスに関する基礎的な知識を習得する
2. 「簿記基礎演習」でビジネスに関する基礎的な技術を習得する

### ◆情報コース専門科目 IT活用

1. 「ソフトウェア概論」や「データベース基礎」でコンピュータに関する基礎的な知識を習得する
2. 「マクロ言語」や「データベースプログラミング」でITに関する基礎的な技術を習得する
3. 「アルゴリズムとデータ構造」「IT活用」で情報処理の基盤知識を学ぶ

### ◆情報コース専門科目 ネットワーク

1. 「インターネット」でITに関する基礎的な知識を習得する
2. 「ネットワーク基礎」や「ネットワーク設定」でITに関する技術を習得する
3. 「インターネットとセキュリティ」でITに関する新しい動向と技術を習得する

◆情報コース専門科目 インターフェース

1. 「ハードウェア概論」でITに関する基礎的な知識を習得する
2. 「Webページ作成」でITに関する基礎的な技術を習得する
3. 「Webページ作成とスクリプト」と「3次元CG」で新しい動向と技術を習得する

◆情報コース専門科目 システム開発

1. 「プログラミング基礎」「プログラミング応用」でITに関する基礎的な技術を習得する
2. 「システムプログラミング基礎・応用」「サーバサイドプログラミング」で応用技術を習得する
3. 「システム開発技法」でITに関する技術を習得する

◆資格支援科目 ビジネス系

1. 簿記入門スキルを習得する
2. 簿記基礎スキル、ファイナンシャルプランニング技能、販売・経営管理基礎を習得する
3. 簿記応用スキル、繊維製品品質管理、販売・経営管理応用を習得する

◆資格支援科目 情報系

1. 医療事務コンピューティング基礎、文書作成基礎、データ処理基礎、インターネット基礎、プレゼンテーション基礎を習得する
2. 文書作成応用、データ処理基礎応用、データ処理基礎、インターネット応用を習得する
3. IT活用スキル、システムエンジニアリングを習得する

◆ゼミ

1. 生活情報ゼミにおいて、学生が専攻する分野の知識を習得する
2. 演習Ⅰにおいて、卒業研究を行うための基礎知識・技術を習得する
3. 演習Ⅱにおいて、卒業研究を行うための応用知識・技術を習得する

◆卒業研究

1. 生活情報の分野において、自らテーマを設定し、研究計画を立てる
2. 設定したテーマに対する、目標設定、課題抽出を行う
3. 研究遂行上必要な新たな知識の獲得、課題の解決、結論の導出、議論、発表を行う

---

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

---

生活情報学科では、次のような学生を求める。

1. ビジネスや情報の分野に興味があり、将来ビジネス社会で活躍したい人
2. コンピュータに興味があり、将来情報システムの管理・運用を行いたい人、情報産業で仕事をしたい人
3. コンピュータの知識や技術を活かして、幅広い分野で仕事をしたい人
4. 簿記・会計・経営に興味があり、将来、一般企業や金融機関で仕事をしたい人
5. 企画・マーケティングに興味があり、それに関する知識や方法について学びたい人

また、入学後の学修の基盤として、次の知識や能力が求められる。

①知識・技能

1. 情報処理やビジネスに関する技能検定や資格を取得している
2. 情報技術の習得や、ビジネスに興味を持ち、かつ生活情報学科の人材育成像（ディプロマ・ポリシー）と学修内容の関係を理解している
3. 情報処理やビジネスを学ぶために必要な教科・科目（国語・英語・数学）の基礎的な知識を身につけている

②思考力・判断力・表現力

1. 体験授業に参加し、レポートをまとめることができる
2. 質問に対して臨機応変に答えることができる

③主体性・多様性・協働性

1. 自分の興味のあることについて表現したり、自分の適性を理解したりしている
2. 優れた活動実績やリーダーシップがある
3. 自己の興味・能力に応じて、適切な資格取得を自ら達成することができる